

首都圏父母懇談会報告

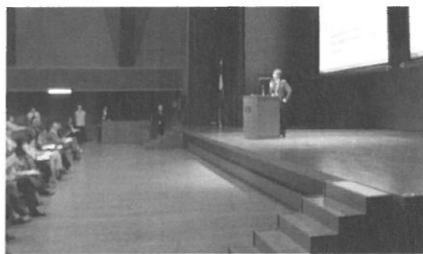
市ヶ谷キャンパス



実行委員
櫻井 秀紀
(大輝/デザイン工学部)

10月21日(日)、市ヶ谷キャンパスにて、2012年度首都圏父母懇談会を開催しました。今年は「市ヶ谷キャンパスで情報収集」と題し、ご父母の皆さまに大学教職員より大学の近況、教育内容、就職状況等について説明を行い、相互対話を通じて法政大学をよりご理解いただくために開催しました。幸い天候にも恵まれ、大変多くのご父母の皆さまにご参加いただきました。プログラムとしまして、午前中に教授・

現役学生との学科(学部)別懇談会を設定し、授業の内容や就職状況などについてお話しいただき、用意した昼食を先生と共にいただく内容にしました。午後からは例年通り薩埵ホールでの講演会を企画し、児美川孝一郎キャリアデザイン学部長より「自らのキャリアを拓く大時代への過ごし方」について講演いただき、ご父母からは多数の質問が出て、大変有意義な講演になりました。薩埵ホールでは引き続きジャズ研究会による生演奏をお楽しみいただき、ポアソナード・



児美川孝一郎キャリアデザイン学部長の講演



学生による音楽演奏(ジャズ研究会)



キャンパスツアー



特別見学(能楽研究所)

タワーではジャズダンスサークルONEがパフォーマンスを披露しました。また、昨年より企画した学生ガイドによるキャンパスツアーや、法政大学が保有する貴重な資料を閲覧いただける能楽研究所の見学、キャリアセンターでは学習・

学生生活・就職についての個別相談など、いずれの企画も盛況となりました。こうして無事終了することができ、協力いただいた先生方や職員の皆さま方に感謝申し上げます。

多摩キャンパス



副実行委員長
戸松 みゆき
(峻希/社会学部)

が年々高まる就職に関する懇談会、魅力あふれる田中優子社会学部長による講演会に、多数のご出席をいただきました。

イベントを締めくくる懇親会では、大学教職員の紹介、学生や応援団OB・OGのパフォーマンス、全員で肩を組んでの校歌斉唱を体験していただきながら、法政ファミリーの連帯感を共有できたと思います。

オリンピックアスリートを育んだ体育施設や充実の教育施設、映画やドラマなど多

10月13日(土)、今夏の猛暑を思い起こさせる強い陽射しの下、多摩キャンパス首都圏父母懇談会を開催しました。当日は700人を超す多くの皆さまにお越しいただき、広大な規模を誇る多摩キャンパス

数のロケ地にもなる美しい多摩キャンパスをご堪能いただけましたでしょうか？

来年も是非多

くの方にご来場いただき、大学ならびに後援会活動をご理解いただければ幸いです。お忙しい中、足を運んでいただいた皆さま



天候に恵まれて



田中優子社会学部長の講演



懇親会



茶道部のお点前

ま、ご協力くださいました教職員の皆さま、この場を借りて御礼申し上げます。あ

りがとうございました。

るタマエもんグッズが手に入るスタンプラリーをお楽しみいただきました。

午後からは、教職員による教育内容などの説明・学生たち自身の言葉で大学生活を語ってくれた学部別懇談会、保護者の意識

小金井キャンパス



副実行委員長
石原 秀子
(朋弥/情報科学部)

10月14日(日)、小金井キャンパスにおいて、484人のご父母の皆さまにご参加をいただき、「見よう、感じよう、ニュー小金井キャンパス」をテーマに首都圏父母懇談会を開催しました。

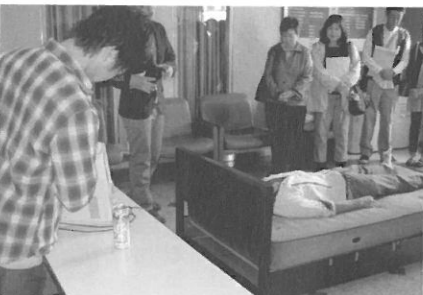
午前中は、「個別相談」「マイクロ・ナノテクノロジー研究センター見学」「キャンパス見学ツアー」の3部門を実施しました。今年も大勢の方がご参加くださり盛況になりました。

午後からは、東館体育館にて全体会がスタートしました。増田壽男総長が出席くだ

さり、「グローバルゼーションと大学」と題し、講演いただきました。

続いての就職説明会では、キャリアセンター課長からは就職状況とキャリアセンターの取り組みについて、また2人の学生から就職活動体験談をお話しいただきました。ご父母の皆さまも熱心に聞き入られていまし

た。就職活動を始めるときは、まずはキャリアアセンターに行くこと、そして私たち父母は余計なブ



キャンパス見学ツアー



学科別説明会



就職説明会



ウェスタンブレイボーイズの演奏

レッスンやを与えず子どもを信じて見守ることが大事であることを考えさせられました。

学科別説明会の後、懇親会では、ご父母の方と先生方が気軽に話ができる貴重な機会でした。音楽サークルウエスタンブレイボーイズの演奏を楽しみながら、ご

父母と先生との話に花が咲いて楽しいひと時となりました。最後になりますが、早朝から長時間にわたるスケジュールにもかかわらず、ご参加くださいました皆さまに厚く御礼申し上げます。

支部長会議報告書



後援会副会長
掛巢 信樹
(義剛/理工学部)

11月10日(土)、36支部84人の支部役員に参加をいただき、支部長会議が開催されました。渡邊秀雄後援会会長のあいさつの後、増田壽男総長より「グローバルゼーションと法政大学」のテーマで講演いただきました。続いて、次の議事が進められました。

1. 2012年度支部総会・父母懇談会概要報告
2. 支部長懇談会(11月9日(金)開催)報告
3. 2013年度支部総会・父母懇談会の日程について
4. グループ別懇談会について
5. 校友連合会支部と後援会支部との連携について(岡田安弘校友連合会副会長)

相談をスムーズに進行するにはどうすればよいのかなどについて、活発な意見交換があり有意義な会議となりました。また、支部長会議に先立ち、前日の11月9日(金)、市ヶ谷キャンパスボアソナード・タワー26階スカイホールにおいて支部長懇談会が34支部70人の支部役員の出席で開催されました。会議は渡邊会長のあいさつ・会の趣旨説明、出席者の紹介の後、支部独自の活動をされている支部に報告していただきました。

援について、静岡・茨城県・富山県・高知県の4支部より報告をいただきました。キャンパス見学の実施内容も、貸し切りバスによる集団行動、現地集合・現地解散方式、多摩首都圏父母懇談会・多摩祭参加などさまざまな企画が紹介されました。野球応援については、神宮へ行った皆さまが、野球部の、そして応援団の学生たちの活躍に感動したとの報告がありました。野球部優勝の瞬間を神宮球場で迎えた徳島県・高知県・東海支部の皆さまは、忘れられない思い出になったことでしょう。



今後とも支部長懇談会・支部長会議の内容の充実を図り、後援会活動の発展に寄与していきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

箱根駅伝予選会応援記



後援会総務
宮崎 恵之
(みかん/社会学部)

10月20日(土)、秋晴れの下、渡邊秀雄後援会会長をはじめとする30数人の有志は金木犀の匂う国営昭和記念公園に集結、2年連続10位で出場が果たせなかった東京箱根間往復大学駅伝競走の予選会突破を応援しました。

当日は本大会に出場する9枠を目指し45校が参加、予選会スタート時刻の9時30分には陸上自衛隊立川駐屯地のスタート場所ほか、コース沿道にはたくさん応援の人垣が出来ました。私は、コース5キロメートル地点(5重、6重の人垣)で法政大学ののほりを持ち、総勢529人の選手の内で法政大学選手の通過を待ちましたが走行スピードがあまりに速く、法政大学選手が通過する時に拍手をするのが精いっぱい状態でした。5キロメートル地点を全選手が通過したあとは、ゴール20キロメートル地点近く「みんなの原っぱ」(数千人の応援者で埋めつくされる)に移動し、後援会のメンバー、法政大学職員および

び学生、法政大学駅伝友の会の皆さま方と合流しました。「みんなの原っぱ」ではオーロラビジョンに映しだされるゴール選手の中で、チームトップ18位の西池選手をはじめとする法政大学選手を確認すると皆で歓声、大きな拍手を送りました。

そして参加45校の中で、法政大学は上位10人の通過(順位の決定は各校10人の合計タイムで6校が決定、残る3校はインカレポイント差を差し引いて決定)が9位との結果を受け、期待と祈るような気持ちでその発表を待ちました。

結果は、第8位の順位でその発表があった瞬間は「みんなの原っぱ」に歓喜の叫びが響きました。

これにより来年の1月2日(水)、3日(木)にむかえる第89回大会で法政大学の出場は、歴代第4位の74回となり伝統復活を果たしました。

後援会は本大会においても、法政大学の各選手が日頃の鍛錬による力走をいかに箱根路で発揮できるよう応援していくとともに、各選手の健闘と活躍を祈ります。

学部長・後援会役員懇談会報告



後援会総務
柿本 純一
(達郎/理工学部)

11月10日(土)、「学部長・後援会役員懇談会」が開催されました。

大学側からは全15学部の学部長、徳安彰常務理事をはじめ大学職員の方々に出席いただき、後援会側からは渡邊秀雄後援会長をはじめとする本部役員、全国36支部の支部長と支部役員が出席しました。

懇談会は、各地で実施された父母懇談会などで寄せられた質問をあらかじめ取りまとめ、大きな6つの項目について当日、関連する学部長から説明いただくという形で進行了ました。

1. 大学院への進学状況について
理工学部はリーマンショック後の大学院への進学率が就職率を上回った。学内進学が圧倒的に多いが、国立大学への進学も若干ある。法学部は大学院進学者の6割が法曹希望で4割が研究者を希望している。
2. 文科系大学院への進学状況と、文学部地理学部の早期大学院進学制度の状況
文系学部における、ここ3年間の大学院進学率は3%から4%で推移している。地理学部の早期大学院進学制度については、現2年生が最初の対象となるので現時点では評価できない。

3. 就職状況について
生命科学部、スポーツ健康学部、経営学部、現代福祉学部、人間環境学部、デザイン工学部から就職状況や就職活動をする学生の特徴などについて説明があった。
4. 秋季入学について
グローバル教養学部(GIS)は2013年度から全定員の2割を対象に秋季入学制度を導入し留学生の受け入れを加速する。文部科学省のグローバル人材育成推進事業(タイプB・特色型)の採択を受け、全学のグローバル化の理念上のリーダーとして種々の教育モデルを提供したい。
5. 留学に関して、特に留学先での安全確保などについて
海外留学を必修としている国際文化学部では学内に設けた国際交流センターISA課(SAセクター)を通じて、迅速かつ組織的に留学先での安全管理の体制を整えている。最近の中国留学に関しては、8月に学習・生活面での事前ミーティングを念入りに実施し、9月には担



後援会ホームページのご案内

URL: <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。



「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、アメフト甲子園ボウルや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

